



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
理、貿易業務担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	30,901	3.0	3,503	3.4	3,597	3.6	2,442	3.0
2026年3月期第1四半期	29,990	7.6	3,389	40.3	3,471	38.0	2,371	41.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,669百万円 (26.5%) 2026年3月期第1四半期 2,110百万円 (6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	68.01	67.90
2026年3月期第1四半期	67.40	67.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	109,026	97,344	87.7	2,651.94
2026年3月期	110,644	96,550	85.7	2,642.75

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 95,568百万円 2026年3月期 94,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	50.00	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	61,800	4.8	5,600	△8.9	5,700	△9.7	3,900	△9.5	108.72
通期	129,000	7.0	12,200	2.2	12,500	1.1	8,550	△1.1	238.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	37,375,636株	2026年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,338,409株	2026年3月期	1,504,308株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	35,920,953株	2026年3月期1Q	35,181,873株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方で、食料品や日用品を中心とした物価上昇が長期化しており、実質購買力の低下から消費者の節約志向は引き続き強い状況となっております。また、米国の通商政策の動向や中国経済の減速懸念、中東情勢をはじめとする地政学リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが身をおく流通業界においても、円安の進行に加え、原材料費や物流費、人件費等の各種コストの上昇が続くなか、価格転嫁や販売効率化の取り組みが引き続き求められるなど、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下、当社グループは、2026年4月より「世界に2つとない つぶれない成長し続ける会社づくり」を経営方針として掲げ、各種施策を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高30,901百万円(前年同期比103.0%)、売上総利益9,810百万円(前年同期比105.1%)、営業利益3,503百万円(前年同期比103.4%)、経常利益3,597百万円(前年同期比103.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,442百万円(前年同期比103.0%)となり、前年同期比で増収増益の着地となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

家電関連では、「ゴリラシリーズ」の「ゴリラのひとつかみ」の初期需要は一巡したものの、展開カテゴリを家庭用品関連やフットウェア関連へも拡大し、「ゴリラの扇風機(ハンディファン)」、「ゴリラのひとつかみ(フライパン)」、「ゴリラの裸足(健康サンダル)」などの新商品を投入するなどラインアップを拡充しました。SNSをはじめとしたメディアを活用した販促活動を継続した結果、「ゴリラシリーズ」全体の販売が伸長しました。

このほか、アパレル関連では「U. S. POLO ASSN. (ユーエスポロ アッスン)」などの専門店向け企画、AVライティング関連では「LEDシーリングライト」、ホームリビング関連では「Luminous (ルミナス) スチールラック」などの販売が順調に推移しました。

また、2026年1月に連結子会社化した株式会社サンアドシステムにおけるオリジナルシール等の企画・販売事業も当セグメントの業績に加わりました。

一方、6月の長雨等の天候不順の影響により、一部の夏物・季節商品では、店頭導入後の追加受注の動きが鈍く、販売は想定を下回りました。

その結果、当セグメントの売上高は17,697百万円(前年同期比99.0%)、セグメント利益2,119百万円(前年同期比92.5%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

NB加工では、ギフト関連が中元・歳暮などのフォーマルギフト市場だけに留まらず、多様なニーズに向けて取り組むカジュアルギフトやブランドスイーツ事業の成長・拡大に加え、新たに開始した加工受託ビジネスも寄与したことにより、販売が堅調に推移しました。

このほか、特販関連では国内調達力を活かし、日用品などの消耗材やレジャー用品、アミューズメント関連ではキャラクターグッズや食品・雑貨などの販売も伸長しました。

有名ブランドでは、バッグ関連におけるカジュアルブランドやメーカータイアップ商品が伸長したほか、時計・ブランドジュエリー関連では代理店ブランド「COACH(コーチ)時計」や「カルバン・クライン時計&ジュエリー」の販売が順調に推移しました。また、前期に実施した在庫水準の適正化および販売ブランドの見直しは完了し、一部取扱ブランドの販売は減少したものの、需要動向を踏まえたブランドポートフォリオの再構築をはじめとする施策が奏功し、セグメント利益は増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は12,517百万円(前年同期比108.6%)、セグメント利益1,468百万円(前年同期比118.7%)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は87,508百万円となり、前連結会計年度末(89,141百万円)に比べ1,633百万円減少いたしました。これは主に、売掛金2,699百万円、電子記録債権662百万円、商品及び製品225百万円、その他224百万円の増加及び、現金及び預金5,437百万円、受取手形6百万円の減少によるものであります。

固定資産は21,518百万円となり、前連結会計年度末(21,503百万円)に比べ15百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券130百万円の増加及び、建物及び構築物(純額)39百万円、有形固定資産その他(純額)20百万円、無形固定資産14百万円、繰延税金資産41百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、109,026百万円となり、前連結会計年度末(110,644百万円)に比べ1,618百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,529百万円となり、前連結会計年度末(13,123百万円)に比べ2,593百万円減少いたしました。これは主に、その他326百万円の増加及び、買掛金1,430百万円、未払法人税等1,286百万円、役員賞与引当金100百万円、賞与引当金102百万円の減少によるものであります。

固定負債は1,152百万円となり、前連結会計年度末(970百万円)に比べ181百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債38百万円、その他143百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は97,344百万円となり、前連結会計年度末(96,550百万円)に比べ793百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2,442百万円、資本剰余金45百万円、自己株式261百万円、その他有価証券評価差額金83百万円、繰延ヘッジ損益98百万円、為替換算調整勘定17百万円、非支配株主持分54百万円の増加及び、剰余金の配当2,152百万円、新株予約権30百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、87.7%(前連結会計年度は85.7%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は29,979百万円となり、前連結会計年度末より5,438百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は3,533百万円(前年同期は2,367百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,597百万円、減価償却費161百万円、その他の流動負債の増加額496百万円による増加及び、役員賞与引当金の減少額100百万円、賞与引当金の減少額102百万円、売上債権の増加額3,345百万円、棚卸資産の増加額221百万円、仕入債務の減少額1,437百万円、未払消費税等の減少額287百万円、その他の流動資産の増加額60百万円、法人税等の支払額2,214百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は57百万円(前年同期は5,016百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入5,049百万円の増加及び、定期預金の預入による支出5,050百万円、有形固定資産の取得による支出34百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円、投資有価証券の取得による支出7百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,869百万円(前年同期は1,157百万円の減少)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入276百万円による増加及び、リース債務の返済による支出33百万円、配当金の支払額2,113百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,470	58,032
受取手形	7	0
売掛金	14,493	17,192
電子記録債権	1,312	1,975
商品及び製品	8,909	9,134
短期貸付金	3	2
その他	947	1,171
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	89,141	87,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,878	13,930
減価償却累計額	△6,723	△6,814
建物及び構築物（純額）	7,155	7,115
土地	9,385	9,385
その他	2,959	2,988
減価償却累計額	△2,337	△2,387
その他（純額）	621	601
有形固定資産合計	17,162	17,102
無形固定資産	433	419
投資その他の資産		
投資有価証券	2,577	2,707
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	65	24
その他	1,272	1,273
貸倒引当金	△10	△9
投資その他の資産合計	3,906	3,996
固定資産合計	21,503	21,518
資産合計	110,644	109,026
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,095	5,664
未払法人税等	2,347	1,060
役員賞与引当金	124	23
賞与引当金	111	9
その他	3,444	3,771
流動負債合計	13,123	10,529
固定負債		
退職給付に係る負債	500	538
資産除去債務	10	11
その他	459	602
固定負債合計	970	1,152
負債合計	14,093	11,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,748	6,793
利益剰余金	83,953	84,243
自己株式	△2,375	△2,113
株主資本合計	93,319	93,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	687	770
繰延ヘッジ損益	160	259
為替換算調整勘定	528	545
退職給付に係る調整累計額	103	75
その他の包括利益累計額合計	1,479	1,651
新株予約権	33	3
非支配株主持分	1,717	1,772
純資産合計	96,550	97,344
負債純資産合計	110,644	109,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	29,990	30,901
売上原価	20,653	21,090
売上総利益	9,336	9,810
販売費及び一般管理費	5,947	6,307
営業利益	3,389	3,503
営業外収益		
受取利息	28	63
受取配当金	32	30
助成金収入	0	1
協賛金収入	19	4
その他	14	15
営業外収益合計	93	115
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	1	1
為替差損	5	13
その他	4	6
営業外費用合計	11	21
経常利益	3,471	3,597
特別利益		
関係会社株式売却益	2	—
特別利益合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	3,473	3,597
法人税、住民税及び事業税	1,051	1,007
法人税等調整額	22	131
法人税等合計	1,074	1,139
四半期純利益	2,399	2,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,371	2,442

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,399	2,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	83
繰延ヘッジ損益	△115	98
為替換算調整勘定	△130	56
退職給付に係る調整額	△3	△27
その他の包括利益合計	△288	211
四半期包括利益	2,110	2,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,130	2,614
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	54

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,473	3,597
減価償却費	152	161
のれん償却額	—	4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	△100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3	△2
助成金収入	△0	△1
受取利息及び受取配当金	△60	△94
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,353	△3,345
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,673	△221
仕入債務の増減額 (△は減少)	△582	△1,437
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△323	△287
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	50	△60
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	648	496
その他	0	0
小計	△710	△1,392
利息及び配当金の受取額	47	72
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,704	△2,214
助成金の受取額	0	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,367	△3,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,050
定期預金の払戻による収入	—	5,049
有形固定資産の取得による支出	△4	△34
有形固定資産の売却による収入	3	1
無形固定資産の取得による支出	△3	△16
投資有価証券の取得による支出	△6	△7
貸付金の回収による収入	0	1
その他の支出	△4	△1
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,016	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	411	276
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△26	△33
配当金の支払額	△1,542	△2,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,157	△1,869
現金及び現金同等物に係る換算差額	△116	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,658	△5,438
現金及び現金同等物の期首残高	44,817	35,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,158	29,979

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会の決議に基づき付与されたストックオプションの権利行使に伴い、自己株式165,900株の処分を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が261百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,113百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	17,870	11,521	29,391	561	29,953	—	29,953
その他の収益	—	—	—	36	36	—	36
外部顧客への売上高	17,870	11,521	29,391	598	29,990	—	29,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,199	2,199	△2,199	—
計	17,870	11,521	29,391	2,798	32,190	△2,199	29,990
セグメント利益	2,291	1,237	3,528	201	3,729	△340	3,389

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△340百万円は、セグメント間取引の消去81百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円及びその他調整額△312百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日 至2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	17,697	12,517	30,214	648	30,863	—	30,863
その他の収益	—	—	—	37	37	—	37
外部顧客への売上高	17,697	12,517	30,214	686	30,901	—	30,901
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,218	2,218	△2,218	—
計	17,697	12,517	30,214	2,905	33,119	△2,218	30,901
セグメント利益	2,119	1,468	3,588	170	3,758	△254	3,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△254百万円は、セグメント間取引の消去57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△134百万円及びその他調整額△177百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。